

活 用 事 例	愛知県豊橋市立牛川小学校	鈴木康弘校長
活用事例タイトル	笑顔いっぱい なかよし学級	
対象授業科目/活動	道徳	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など)	<p>【単元名】 笑顔いっぱい なかよし学級</p> <p>【授業者】 鈴木晴久教諭</p> <p>【対象学年】 小学 1 年</p> <p>【ICT 使用場面】</p> <p>本学級の児童は、明るく元気な子が多い。学校生活にも慣れ、友達とのかかわりも徐々に広がってきている。学習が進むにつれ、話す力や聞く力も少しずつ身につき、友達との会話も弾み、さまざまな情報をやりとりしている。教室では、週の予定表や当番表を確認し、情報をとらえて行動できる子も見られるようになってきた。こうした情報を正しく理解したり、伝えたりする力を学級全体に広め、高めていきたい。</p> <p>本題材は、ちょっとしたいたずらのつもりで書いた落書きのせいで、友達のとらおを傷つけてしまったかばきちの話である。黒板という情報を記す道具に書いたために、その情報が他へ広がってしまった内容である。本時では、主人公かばきちの行動に着目して考えていけるように、パワーポイントで効果的な資料提示をする。また、情報が学級全体へ広がっていく様子を視覚的に押さえるために、他の動物を登場させる。登場人物の気持ちに深く共感させることによって、友達を傷つける行為を慎み、周りの人のことを考えて生活していこうという心情を高めたい。更に、いたずらがきをしてはいけないということを学ぶことは、将来携帯電話やインターネットを正しく利用しようとする態度を育むことにつながると考える。</p>	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	<p>【単元のねらいと目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人とかかわりあう中でやさしさや思いやりの気持ちを持ち、よりよい人間関係を築くことができる。 ・情報が予想以上に広がる怖さに気づき、よく考えて行動していこうとする心情を高める。 	

1 総合単元 笑顔いっぱい なかよし学級 (本時4/5)

2 総合単元のねらい

- ・身近な人とかかわりあう中でやさしさや思いやりの気持ちを持ち,よりよい人間関係を築くことができる。

3 単元の構想 5時間完了 (※支援・留意点 ◆ICT活用)

ふれあいタイム ○異学年交流により,協力や助け合いの心をもつ。 ・お兄さんやお姉さんたちが優しくしてくれてうれしいな ・次のふれあいタイムが楽しみだな 学活 「誕生日をお祝いしよう」 ○友達のことを知ったり,お祝いのことばを伝えたりする。 ・みんなが祝ってくれてうれしいな 学活 「しあわせの木」 ○友達のすばらしいところを認めたり,感謝の気持ちを伝えたりする。 ・友達に褒められるとうれし	道徳【かぼちゃのつる】① 1-(1) 節度, 自制 「あかるいところ 1ねんより」 ○周りの人の気持ちを考え,わがままを慎もうとする気持ちを高める。	※異学年交流にすすんで参加できるように予告をし,期待感を高める。 ◆資料へ興味関心をもたせるために,大型テレビにパワーポイントで作成した資料を提示する。 【情報共有・興味関心】
	道徳【はしのうえのおおかみ】① 2-(2) 思いやり・親切 「あかるいところ 1ねんより」 ○身近な人に対して温かい心で接し,親切にしようとする気持ちを高める。	◆主人公の気持ちを想像させるために,大型テレビに大事な場面を拡大して映し出す。 【情報共有】
	道徳【おはよう】① 2-(1) 礼儀 「あかるいところ 1ねんより」 ○気持ちのよいあいさつを心がけ,明るく接しようとする気持ちを高める。	※学級全体が温かな心の通い合うものにするために,誕生日を祝ったり,友達同士のよいところを発表したりする。
	行事「あいさつ運動」 ○気持ちのよいあいさつをする。 ・元気にあいさつをすると気持ちいいな	※友達と楽しく活動し,ルールを守ろうとしている子どもを認め,励ましていく。
	道徳【いたずらがき】① (本時) 1-(1) 節度, 自制 (情報モラル) 「東京書籍より」 ○軽はずみな行動を反省し,自分でよく考えて生活しようとする気持ちを高める。	◆校外学習への興味関心をもたせるために,大型テレビにデジタルカメラで撮影した動物園の写真を提示する。 【情報共有・興味関心】
	道徳【えんそく】① 2-(3) 仲よし, 助け合い「あかるいところ 1ねんより」 ○友達と仲よくし,ともに助け合い,励ましあう気持ちを高める。	※仲よく校外学習に参加できるように,班別行動や施設を利用するときのルールやマナーについて話し合う。
生活「秋の校外学習」 ○2年生と一緒に動物園へ行く。 ・2年生のお兄さんお姉さんと仲よくしたいな		

4 本時の授業について

本学級の児童は,明るく元気な子が多い。学校生活にも慣れ,友達とのかかわりも徐々に広がってきている。学習が進むにつれ,話す力や聞く力も少しずつ身につく,友達との会話も弾み,さまざまな情報をやりとりしている。教室では,週の予定表や当番表を確認し,情報をとらえて行動できる子も見られるようになってきた。こうした情報を正しく理解したり,伝えたりする力を学級全体に広め,高めていきたい。






本題材は,ちょっとしたいたずらのつもりで書いた落書きのせいで,友達のとらおを傷つけてしまったかばきちの話である。黒板という情報を記す道具に書いたために,その情報が他へ広がってしまった内容である。本時では,主人公かばきちの行動に着目して考えていけるように,パワーポイントで効果的な資料提示をする。また,情報が学級全体へ広がっていく様子を視覚的に押さえるために,他の動物を登場させる。登場人物の気持ちに深く共感させることによって,友達を傷つける行為を慎み,周りの人のことを考えて生活していこうという心情を高めたい。更に,いたずらがきをしてはいけないということを学ぶことは,将来携帯電話やインターネットを正しく利用しようとする態度を育むことにつながると考える。

(1) 目 標

- ・ 情報が予想以上に広がる怖さに気づき、よく考えて行動していこうとする心情を高める。

(2) 準 備 P C, ワークシート, 資料の挿絵

(3) 展 開

時間	学 習 活 動	※支援・留意点	◆ I C T 活 用	☆評価 (方法)
5	<p>1 登場人物を知る。</p> <p>なかよし森の学級</p>  <p>かばきち とらお うさぎさん どうぶつたち</p> <p>2 資料「いたずらがき」の話を聞いて話し合う。</p> <p>かばきちはどんな気持ちでいたずらがきをしたでしょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒板にかくのは楽しいな ・ チョークでかいてみたかったんだ ・ おもしろいな ・ 誰もいないから、かいてもばれないぞ  <p>友達の話をしているとき、かばきちはどんな気持ちだったでしょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが黒板を見ているよ ・ みんなにわかっちゃった ・ みんながさわいでいるよ ・ どんどん広がっちゃった ・ 大変なことになった ・ 困ったな ・ どうしよう  <p>とらおのふるえる背中を見ながら、かばきちはどんなことを考えていたでしょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とらおくんを傷つけたから謝ろう ・ 悪いことしたな、ごめんね ・ 黒板にかかなきゃよかった ・ もういたずらがきなんてしないよ 		<p>◆一度の読み聞かせで、資料の内容を理解できるように、登場人物を大型テレビに映し出して説明する。 【情報共有】</p> <p>◆資料への興味を高めるために、挿絵を効果的に大型テレビに映し出しながら、読み聞かせを行う。 【興味関心, 情報共有】</p> <p>◆軽はずみな気持ちに迫るために、かばきちの表情を大型テレビに拡大して映し出す。 【情報共有】</p> <p>※問題が学級全体へ広がっていることを押さえるために、挿絵の周りに多くの動物たちを登場させる。</p> <p>※黒板という情報を記す道具に軽い気持ちで書いてしまったかばきちの心の動揺に気づかせるために、動物たちの会話を掲示する。</p> <p>※かばきちの気持ちをワークシートに書くことで、自分の考えに自信をもって発表に望めるようにする。</p> <p>※いろいろな意見を交流させるために、ワークシートに書かれた子どもの意見を把握し、意図的に指名する。</p>	
3 5	<p>3 本時のまとめをする。</p> <p>今日の勉強で思ったことや考えたことをかきましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とらおくん本当にごめん ・ いたずらがきはおもしろいけど、やらなければよかったな ・ いたずらがきをするとうなっちゃうんだ ・ いたずらがきは、絶対にしてはいけないと思った ・ かばきちのように友達をきずつけないようにしたい  <p>これからは、よく考えて行動していきたい</p>		<p>※文を書くことが困難な児童でも、本時のまとめができるように、ワークシートの一部を記号で記入できるようにする。</p> <p>◆実践意欲を高めるために、笑顔いっぱいの友達との写真を大型テレビに映し出す。 【ふり返し】</p>	<p>☆相手のことを考えて行動しようという気持ちを高めることができたか。 (ワークシート・発言)</p>

① 今日のお話は「いたずらがき」というお話です。

※黒板に「いたずらがき」と書く

② このお話に出てくる人を紹介します。※パワーポイント（仲よし森の学級）

※かばきち と とらお は とても仲がよいことを伝える

③ 黒板に「かばきち」と「とらお」の顔を掲示し、とても仲よしであることを再確認。

④ かばきちの 気持ちを考えながら話を聞きましょう。 ※資料を読む

⑤ 座席を話し合いの隊形にしましょう。

⑥ 発問1「かばきちは **どんな気持ちで** いたずらがきをしたのでしょうか」

※発問前：黒板（とらお→なきむし挿絵）掲示 ※パワーポイント

※面白半分で行ったことを押させる。

⑦ 発問2「友達の話を聞いているとき、かばきちは **どんな気持ちだった** でしょうか」

※発問前：黒板（動物たち騒いでいる挿絵）掲示

※かばきち挿絵 掲示

※情報が広がっていく様子 & 困っている様子 を押さえる

⑧ 発問3「とらおのふるえる背中を見ながら、かばきちは

どんなことを 考えていたでしょうか」

※書く ※あやまろう、もうしない

⑨ 「今日の勉強で、**思ったことや考えたこと**を書きましょう」

⑩ 「最後に（先生から） みんなへメッセージを送りたいと思います。」

「これからも （ ）で 笑顔いっぱいの クラスを 一緒につくって
いこうね。」